

機械遺産

Mechanical Engineering Heritage

2022年度機械遺産一覧

114. Collection

平面研削盤PSG-6B…P02

115. Collection

木材ブレカットシステムMPS-1…P03

116. Collection

手回しガラ紡機…P04

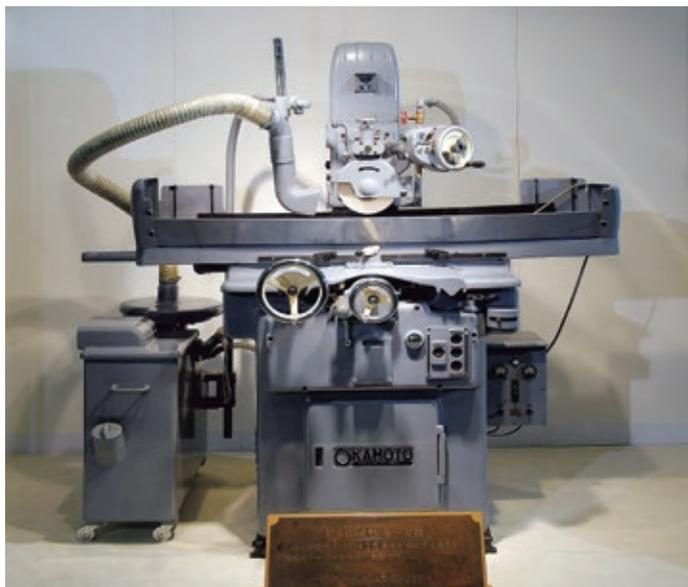


一般社団法人 日本機械学会
The Japan Society of Mechanical Engineers

〒162-0814 東京都新宿区新小川町4番1号 KDX飯田橋スクエア2階
TEL:03-4335-7613 FAX:03-4335-7618
E-mail:kikaiisan@jsme.or.jp

平面研削盤 PSG-6B

Surface Grinding Machine PSG-6B



平面研削盤は、円筒研削盤とともに、機械部品加工の最終工程を担う重要な工作機械のひとつである。岡本工作機械製作所製の横軸角テーブル平面研削盤PSG-6型にはプロトタイプと、それに砥石軸の上下マイクロフィード装置を取り付けたPSG-6B型、前後上下自動切込み装置を付けたPSG-6C型がある。本機は、1953(昭和28)年に製作されたPSG-6B型の1号機(機番NO. 301)である。テーブル駆動装置に自社開発の油圧ポンプ・

油圧シリンダを採用し、砥石軸は4個の超精密ボールベアリングで支え、これにより0.001mmの砥石軸の送りを可能にしている。テーブルを油圧駆動するという現在の平面研削盤の基本構造を画した最初の機械で、平面研削盤の世界トップメーカーとなった同社の原点と言える。日本の高度経済成長期の機械工業の発展を、1/1,000mm台の精密加工を実現するという確かな精度で支えた歴史的工作機械である。

〈写真提供：株式会社岡本工作機械製作所〉

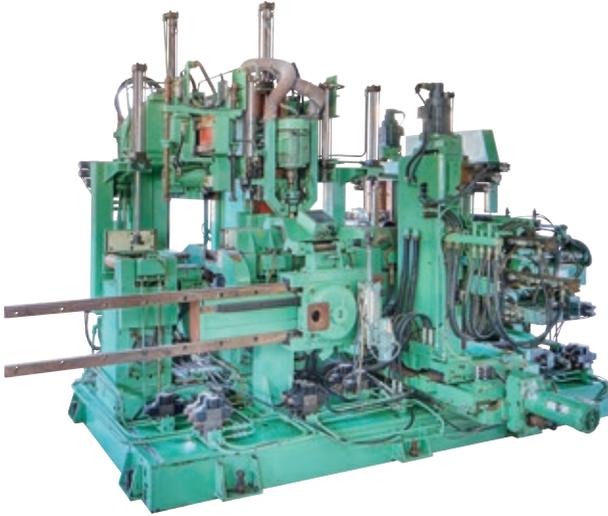
株式会社岡本工作機械製作所

公開(要電話予約・HP問い合わせ)

- 開館時間：9:00～17:00
- 利用料：無料
- 休館日：土、日、祝祭日、年末年始、お盆 など
- 住所：群馬県安中市郷原2993
- 電話番号：027-385-5800
- HPアドレス：<https://www.okamoto.co.jp/>
- 交通機関：JR信越本線 磯部駅 徒歩20分/上信越自動車道 松井田妙義インター車で15分

木材プレカットシステム MPS-1

Timber pre-cut system MPS-1



現在の一般住宅では木造住宅比率が57%、そのうち76%が軸組み工法を採っている。従来、この工法では、熟練した大工職人により軸材の配置・組み立て方が設計され、現場で手加工が行われていた。

木材加工機の製造を行っていた宮川工機は、その工程を、工場であらかじめ組手を加工してそれを現場に搬入するプレカット(同社による造語)により置き換えることを企画し単機能の機械を開発した。この過程で、接手、仕口の形状を機械での加工に適した円弧形状への転換がなされ実用新案が取得された。この工法は当初、なかなか大工職人に受

け入れられなかったが、1978(昭和53)年頃の持ち家ブームを受けた人手不足から普及が進んでいった。

その後、それまでの単機能の手動加工機をCAD/CAMの連携システム化することが企画された。この装置は1985(昭和60)年に製造されたプレカットCAD/CAMシステムの加工機械部分で、現場での作業から、事前に加工を行い現場に搬入して組み立てを行う形に転換させた。現在、軸組み工法の93%はプレカット工法であるが、その端緒となる機械で、宮川工機はプレカット機械の60%のシェアを占めている。

《写真提供：宮川工機株式会社》

宮川工機株式会社

公開(要事前予約)

- 公開時間：9:00～17:00 (受付は16:00まで)
- 利用料：無料
- 休館日：土、日、祝祭日、年末年始、お盆
- 住所：〒441-8019 愛知県豊橋市花田町字中ノ坪53番地
- 電話番号：0532-31-1251
- HPアドレス：<https://www.miyagawakoki.co.jp/>
- 交通機関：JR豊橋駅から徒歩15分

手回しガラ紡機

Hand-cranked Garabo Spinning Machine



この手回し紡績機は、その運転音から「ガラ紡機」と呼ばれたもので、大阪市の綿業会館に保存展示されている。明治政府の殖産興業政策の一環として、綿糸製造の生産性向上のために洋式紡績機が導入される中、臥雲辰致(1842~1900)が、高価な外国製に代わる単純な機構の手回し紡績機を発明し、1877(明治10)年に東京上野で開かれた第一回内国勸業博覧会に出品して、高評価を得た。国内における綿作地域の西三河地方に、臥雲のガラ紡機が導入(動力は水車)されたことがきっかけで、当地方の紡績業が急成長し、一大産地になった。その後、国産紡績機として

日本各地に普及した。ガラ紡機は太糸需要に対応した生産に特化していたことから、戦後の生活様式の変化や洋式紡績機の復興などにより、1960(昭和35)年頃をピークに急速に衰退し、現在では極めて僅かとなっている。

本機は、1880(明治13)年代に製造された、日本の外貨獲得に大きく貢献した紡績産業の黎明期における象徴的国産機械である。なお、スケッチによる図面作成を経て、同一寸法品を製作した本機の複製品が、トヨタ産業技術記念館(名古屋市)で、今も一般市民向けに実演公開中である。

《写真提供：一般社団法人日本綿業倶楽部》

一般社団法人日本綿業倶楽部(綿業会館)

公開(事前要予約)

- 開館時間：毎月第4土曜日の館内一般見学会をご利用ください。
見学当日の受付時に「ガラ紡を見に来ました」と受付担当者にお伝えください。
- 利用料：500円
- 休館日：一般見学会以外でのご来館はご遠慮ください。
- 住所：大阪市中央区備後町2丁目5-8
- 電話番号：06-6231-4881
- HPアドレス：<http://mengyo-club.jp/>
- 交通機関：大阪市営地下鉄御堂筋線本町駅・堺筋線堺筋本町駅いずれの駅からも徒歩約5分

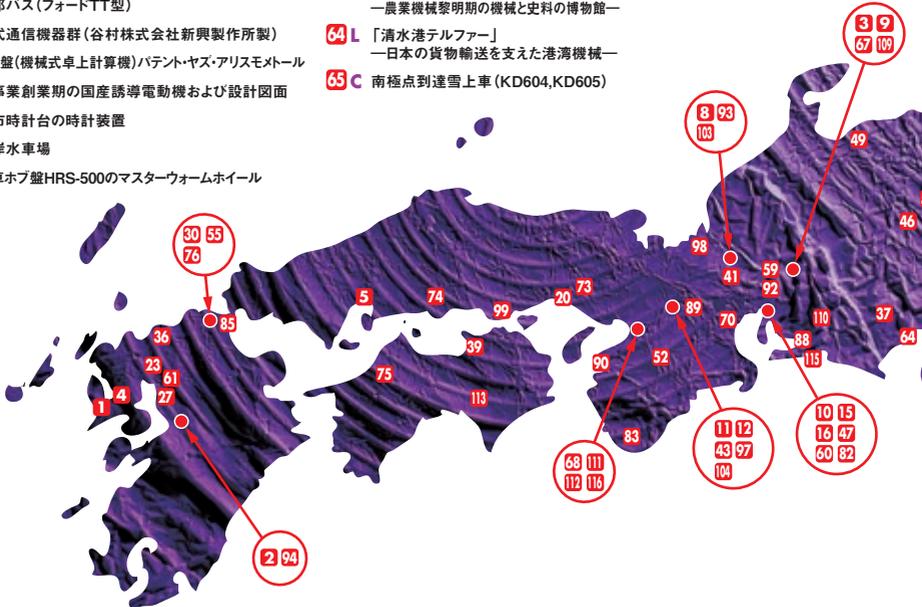
「機械遺産」(2007~2022)所在地一覧 **T-116**

No.	分類	遺産名(*:非公開)	所在地	No.	分類	遺産名(*:非公開)	所在地
1	S	小菅修船場の曳揚げ装置	長崎県長崎市	60	C	国産初の16ミリ映写機(エルモA型)*	愛知県名古屋
2	L	熊本大学の旧機械実験工場と文化財工作機械群	熊本県熊本市	61	C	からくり人形 弓曳き童子*	福岡県久留米市
3	C	足踏旋盤(明治8(1875)年伊藤嘉平治作)	愛知県犬山市	62	L	「土の館」	北海道上高良野町
4	C	陸用蒸気タービン	長崎県長崎市	63	L	農機具「資料館」	埼玉県さいたま市
5	C	10A型ロータリーエンジン	広島県府中町	64	L	「清水港テルプアー」	静岡県静岡市
6	C	ホンダCVCCエンジン	栃木県茂木町	65	C	南極点到達雪上車(KD604, KD605)	東京都立川市
7	C	民間航空機用FJR710 ジェットエンジン	東京都調布市	66	C	時代を画した国産腕時計	秋田県立川市
8	C	ヤンマー小形横形水冷ディーゼルエンジンH8形	滋賀県長浜市	67	C	国産機械「門形平削り盤」	東京都墨田区
9	C	あのかち式渦巻きポンプ	愛知県犬山市	68	C	フジ自動マッサージ機*	愛知県犬山市
10	C	高周波発電機	愛知県刈谷市	69	D	国産機械製造の礎「国産機械図集」	大阪府太子町
11	C	東海道新幹線0系電動客車	京都府京都市	70	L	鉄道跳開橋「未だ橋梁」	東京都新宿区
12	C	230形233号タウク式蒸気機関車	東京都府中市	71	C	自動鉛筆削り機「105型」	三重県四日市市
13	C	旅客機YS11*	東京都大田区	72	C	「ミカサ」のオートマチック・トランスミッション	栃木県宇都宮市
14	C	カブP型(ホンダ自転車用補助エンジン)	栃木県茂木町	73	C	国産初の硬貨計数機	東京都千代田区
15	C	妻わら帽子製造用環織ミシン	愛知県名古屋	74	C	小林式定置木炭ガス機関	兵庫県姫路市
16	C	無停転付換式豊田自動織機(G型)第1号機	愛知県名古屋	75	C	小型貫流式ボイラー「ZP型」*	広島県福山市
17	C	活版印刷機	東京都中央区	76	C	全電気式産業用ロボット「モートマン10」	愛媛県松山市
18	C	コマツブルドーザー G40(小松1型均土機)	静岡県伊豆市	77	L	松山地熱発電所	福岡県北九州市
19	C	オリンパスガストロカメラGT-I	東京都八王子市	78	C	バスバル360-K111型	岩手県八幡平市
20	C	バックン万能試験機*	兵庫県高砂市	79	C	二段膨張式船舶用蒸気エンジン	群馬県太田市
21	C	万能製図機械MUTOH「ドラフター-MH-I」	東京都世田谷区	80	C	金銭記録用納器「ゼニアキ」	埼玉県東松山市
22	C	万年自鳴鐘	東京都台東区	81	C	特許タツノ式ガソリン計量機 型式25号*	東京都中央区
23	C	「旧筑後川橋梁」(筑後川昇開橋)	福岡県大川市	82	C	移動式フラシ付門型自動洗車機*	神奈川県横浜
24	D	機械学会黎明期の学術図書(機械学会誌創刊号、 機械工学術語集及び機械工学便覧)	東京都新宿区	83	C	煙草灯台の光学系機械装置	愛知県名古屋
25	D	東京帝国大学水力学及び水力機構講義ノート(真野 文二、井口在屋教授)	東京都新宿区	84	S	勝間橋(跳開橋)の機械設備	和歌山県串本町
26	S	三居沢発電所関係機器・資料群	宮城県仙台市	85	S	奥田トンネルのジェットファン縦流換気システム*	東京都中央区
27	S	三池港水圧式開門と蒸気式浮クレーン	福岡県大牟田市	86	C	国産初の地下鉄車両「モハ1000形1001号」	東京都江戸川区
28	C	円太郎バス(フォードT型)*	埼玉県さいたま市	87	C	有人潜水調査船「しんかい2000」	神奈川県川崎市
29	C	機械式通信機器群 (谷村株式会社新興製作所製)	岩手県花巻市	88	C	鋳造用砂型の造形機械「C-11型生型造形機」*	愛知県豊川市
30	C	自働算盤(機械式卓上計算機)パテント・ヤズ・ アルヌメロ	福岡県北九州市	89	C	組合せ計量機(ACW-M-1)*	滋賀県栗東市
31	C	電機事業創業期の国産誘導電動機および設計図面	茨城県日立市	90	C	全自動手袋縫製機(角型)	和歌山県和歌山市
32	S	札幌時計台の時計装置	北海道札幌市	91	C	日本工業大学の所蔵する歴史的な工作機械群	埼玉県南埼玉郡
33	L	旧荻津停車場	東京都三鷹市	92	C	エアレス塗装機*	愛知県尾張旭市
34	C	親歯車ホブ盤HRS-500のマスターウォームホイール	静岡県沼津市	93	C	ブラウングラス製造装置*	滋賀県長浜市
35	C	ロコモ(国内最古の自家用乗用自動車)	北海道北斗市	94	C	新聞博物館の活字鑄造機	熊本県熊本
36	C	アロウ号(現存最古の国産乗用自動車)	福岡県福岡市	95	L	田瀬ダムの高圧放流設備	岩手県花巻市
37	C	英国製50フィート軽軌車	静岡県川根町	96	L	新津田田金津鉱場一採油と製油技術の証一	新潟県新潟市
38	L	トシえん「カルセル エルドラド」	東京都練馬区	97	L	京都鉄道博物館の蒸気機関車と検修施設群	京都府京都市
39	L	日金毘羅大芝居(金丸座)の廻り舞台と旋回機構	香川県琴平町	98	C	国産化黎明期の乗用エレベーター	福井県敦賀市
40	C	たま電気自動車(E4S-47I)	神奈川県横浜	99	C	急傾斜地軌条運搬機「モックM-1」*	岡山県岡山市
41	C	内燃機関式フォークリフト	滋賀県近江八幡市	100	CD	工部大学校の「機械学」教育機器およびC.W.ド エスト関係資料群	東京都千代田区
42	C	高砂荏原式ターボ冷凍機	神奈川県厚木市	101	C	日本の一里七カメラを世界水準へと進ませたアサヒ フレックス・II.B.ミランダ.T.S.ノニコンフ	東京都千代田区
43	C	自動改札機	京都府京都市	102	C	自由粉砕機 第1号機(奈良式高速衝粉機)	東京都大田区
44	L	青函連絡船及び可動橋	青森県青森市	103	C	日本の溶射技術を工業化したアーク溶射ガン*	滋賀県湖南市
45	C	幹線用電気機関車ED15形*	北海道函館市	104	C	機械式無段変速機/リングコーンRC型	京都府長岡京市
46	C	岡谷蚕糸博物館の繰糸機群	茨城県うちななか市	105	C	現存する国産初の電気搾乳機/バケットミルカー DK-5 II型	長野県須坂市
47	C	豊田式汽力織機	長野県岡谷市	106	C	平歯車研削盤ASG-2形	埼玉県南埼玉郡
48	C	油圧ジャベルUHJ03	愛知県名古屋	107	C	江戸前寿司自動にぎり機ST-77寿司ロボット1 号機*	埼玉県比企郡
49	C	フアスナーチェーンマシン(YKK-CMG)	富山県富山市	108	C	新幹線開発に貢献した車両試験装置*	東京都国分寺市
50	C	多能式自動券売機	長野県佐久市	109	C	日本現存最古のピンチングマシンカタバト式: 型式KS-P型/型式AR型	東京都文京区
51	L	ステンレス鋼製車両群 (東急5200系と7000系)*	神奈川県横浜	110	C	携帯用電気カノン モデル1000*	愛知県安城市
52	L	吉野山ロープウェイ	奈良県吉野町	111	C	造幣局創業期の硬貨圧印機-ワールホン硬貨 圧印機とトネリ工硬貨圧印機一	大阪府大阪市
53	C	池貝工場製第1号旋盤(現存最古の動力旋盤)	東京都台東区	112	C	回転ずりコンベア機-新しい食文化の創造一*	大阪府堺市
54	C	卓上複写機リコピー 101	神奈川県海老名市	113	C	静岡重荷圧入引抜機サイレントハイパー KKG-100A	大阪府東大阪市
55	C	ウォシュレットG(温水洗浄便座)	福岡県北九州市	114	C	平面研削盤PSG-6B	高知県高知市
56	L	機械式立体駐車装置 ロートパーク*	東京都新宿区	115	C	木材プレカットシステムMPS-1	群馬県安中市
57	C	国産化黎明期の家庭用電化機器	神奈川県川崎市	116	C	手回しラガ紡機	愛知県豊橋市
58	C	旧横須賀鉄所 スチームハンマー	神奈川県横須賀市				大阪府大阪市
59	C	大規模非真円軸受とGPB形円筒研削盤*	愛知県大田町				

分類 S(Site): 歴史的景観を構成する機械遺産、L(Landmark): 機械を含む象徴的な建造物・構造物、
C(Collection): 保存・収集された機械、D/Documents): 歴史的意義のある機械関連文書類

- 1 S 小菅修船場跡の曳揚げ装置
- 2 L 熊本大学の旧機械実験工場と文化財工作機械群
- 3 C 足踏旋盤(明治8(1875)年伊藤嘉平治作)
- 4 C 陸用蒸気タービン
- 5 C 10A型ロータリエンジン
- 6 C ホンダCVCCエンジン
- 7 C 民間航空機用FJR710ジェットエンジン
- 8 C ヤンマー小形横形水冷ディーゼルエンジンHB形
- 9 C むのくち式渦巻きポンプ
- 10 C 高周波発電機
- 11 C 東海道新幹線0系電動客車
- 12 C 230形233号タンク式蒸気機関車
- 13 C 旅客機YS11
- 14 C カブ号F型(ホンダ自転車用補助エンジン)
- 15 C 麦わら帽子製造用環縫ミシン
- 16 C 無停止杆換式豊田自動織機(G型)第1号機
- 17 C 活版印刷機
- 18 C コマツブルドーザーG40(小松1型均土機)
- 19 C オリジナルバスガストロカメラGT-I
- 20 C バックトン万能試験機
- 21 C 万能製図機械MUTOH「ドラフターMH-I」
- 22 C 万年自鳴鐘
- 23 C 「旧筑後川橋梁」(筑後川昇開橋)
- 24 D 機械学会黎明期の学術図書
(機械学会誌創刊号,機械工学術語集及び機械工学便覧)
- 25 D 東京帝国大学水力学及び水力機講義ノート
(真野文二/井口在屋教授)
- 26 S 三居沢発電所関係機器・資料群
- 27 S 三池港水圧式開門と蒸気式浮クレーン
- 28 C 円太郎バス(フォートTT型)
- 29 C 機械式通信機器群(谷村株式会社新興製作所製)
- 30 C 自動算盤(機械式卓上計算機)パレント・ヤズ・アリスモトル
- 31 C 電機事業創業期の国産誘導電動機および設計図面
- 32 S 札幌市時計台の時計装置
- 33 L 旧釜岸水車場
- 34 C 親歯車ホブ盤HRS-500のマスターウォームホイール

- 35 C ロコモビル(国内最古の自家用乗用自動車)
- 36 C アロー号(現存最古の国産乗用自動車)
- 37 C 英国製50フィート転車台
- 38 L としまえん「カルーセル エルドラド」
- 39 L 旧金毘羅大芝居(金丸座)の廻り舞台と旋回機構
- 40 C たま電気自動車(E4S-47 I)
- 41 C 内燃機関式フォークリフト
- 42 C 高砂荏原式ターボ冷凍機
- 43 C 自動改札機
- 44 L 青函連絡船及び可動橋
- 45 C 幹線用電気機関車ED15形
- 46 C 岡谷蚕糸博物館の繰糸機群
- 47 C 豊田式汽力織機
- 48 C 油圧シヨベルUH03
- 49 C ファスナーチェーンマシン(YKK-CM6)
- 50 C 多能式自動券売機
- 51 L ステンレス鋼製車両群(東急5200系と7000系)
- 52 L 吉野山ロープウェイ
- 53 C 池貝工場製第1号旋盤
(現存最古の動力旋盤)
- 54 C 卓上複写機リコピー01
- 55 C ウォッシュレットG(温水洗浄便座)
- 56 L 機械式立体駐車装置 ロートパーク
- 57 C 国産化黎明期の家庭用電化機器
- 58 C 旧横須賀製鉄所 スチームハンマー
- 59 C 大隈式非真円平軸受とGPB形円筒研削盤
- 60 C 国産初の16ミリ映写機(エルモA型)
- 61 C からくり人形 弓曳き童子
- 62 L 「土の館」—北海道の土作りとトラクターの博物館—
- 63 L 農機具「資料館」
—農業機械黎明期の機械と史料の博物館—
- 64 L 「清水港テルファー」
—日本の貨物輸送を支えた港湾機械—
- 65 C 南極点到達雪上車(KD604,KD605)



「機械遺産」(2007~2022) 所在地地図



- 66 C 時代を画した国産腕時計
- 67 C 国産機械「門形平削り盤」
—工部省赤羽工作分局製—
- 68 C フジ自動マッサージ機
—世界初の量産型マッサージチェア—
- 69 D 国産機械製造の礎「国産機械図集」
- 70 L 鉄道跳開橋「末広橋梁」
- 71 C 自動包箱機「105型」
—世界の食文化を陰で支える—
- 72 C 「ミカサ」のオートマチック・トランスミッション
—日本のAT車ここにはじまる—
- 73 C 国産初の硬質計数機
- 74 C 小林式 定置木炭ガス機関
—燃料不足を支えた元祖バイオマスエンジン—
- 75 C 小型貫流式ボイラー「ZP型」
- 76 C 全電気式産業用ロボット「モートマン-L10」
- 77 L 松川地熱発電所
- 78 C スバル360-K111型
- 79 C 二段膨張式船舶用蒸気エンジン
- 80 C 金銭記録出納器「ゼニアイキ」
- 81 C 特許タツノ式ガソリン計量機 型式25号
- 82 C 移動式ブラシ付門型自動洗車機
- 83 C 櫻野塔灯台の光学系機械装置
- 84 S 勝開橋(跳開部の機械設備)
- 85 S 奥田トンネルのジェットファン縦流換気システム
- 86 C 国産初の地下鉄車両「モハ1000形1001号」
- 87 C 有人潜水調査船「しんかい2000」
- 88 C 鑄造用砂型の造型機械「C-11型生型造型機」
- 89 C 組合せ計量機(ACW-M-1)
- 90 C 全自動手袋編機(角型)
- 91 C 日本工業大学の所蔵する歴史的な工作機械群
- 92 C エアレス塗装機
- 93 C ブラウン管ガラス製造装置
- 94 C 新聞博物館の活字鑄造機
- 95 L 田瀬ダムの高圧放流設備
- 96 L 新津油田金津鉱場—採油と製油技術の証—
- 97 L 京都鉄道博物館の蒸気機関車と検修施設群
- 98 C 国産化黎明期の乗用エレベーター
- 99 C 急傾斜地軌条運搬機「モノラックM-1」
- 100 CD 工部大学校の「機械学」教育機器および
C.D.ウエスト関係資料群
- 101 C 日本の一眼レフカメラを世界水準へと進展させた
アサヒフレックスI-IIB、ミランダT、スノー、ニコフ
- 102 C 自由粉碎機 第1号機(奈良式高速衝撃粉碎機)
- 103 C 日本の射撃技術を工業化したアーク溶射ガン
- 104 C 機械式無段変速機/リングコンRC型
- 105 C 現存する国産初の電気搾乳機バケットミル
カーDK-5II型
- 106 C 平衡車研削盤ASG-2形
- 107 C 江戸前寿司自動にぎり機ST-77寿司ロボット1号機
- 108 C 新幹線開発に貢献した車両試験装置
- 109 C 日本現存最古のピッチングマシンカタバルト
式:型式KS-P型/型式AR型
- 110 C 携帯用電気カンナ モデル1000
- 111 C 造幣局創業期の硬貨圧印機—ウールホルン
硬貨圧印機とトネリ工硬貨圧印機—
- 112 C 回転リソベア機—新しい食文化の創造—
- 113 C 静荷重圧入引抜機サイレントバイラー-KGK-100A
- 114 C 平面研削盤PSG6B
- 115 C 木材フレカットシステムMPS-1
- 116 C 手回しガラ紡機

分類 S(Site): 歴史的景観を構成する機械遺産、L(Landmark): 機械を含む象徴的な建造物・構造物、
C(Collection): 保存・収集された機械、D(Documents): 歴史的意義のある機械関連文書類

日本機械学会「機械遺産」の認定

日本機械学会では、2007年6月に創立110周年を迎え、その記念事業の一環として、歴史に残る機械技術関連遺産を大切に保存し、文化的遺産として次世代に伝えることを目的に、日本国内の機械技術面で歴史的意義のある「機械遺産」(Mechanical Engineering Heritage)の認定を開始いたしました。

「機械遺産」の認定は、本会の行う重要な事業として、今後も継続致しますので、ぜひ一度現地を訪問され、「機械遺産」をご自身の目でご覧頂きたく、あわせて今後の「機械遺産」認定に対し、ご理解とご支援を重ねてお願い申し上げます。

《日本機械学会「機械遺産」認定基準》

2006年3月22日 理事会承認
2008年5月13日 変更

●目的

歴史に残る機械技術関連遺産を大切に保存し、文化的遺産として次世代に伝えることを目的に、主として機械技術に関わる歴史的遺産「機械遺産」(Mechanical Engineering Heritage)について日本機械学会が認定する。

●認定の指針

「機械遺産」とは機械技術の歴史を示す具体的な事物・資料であって、以下のいずれかに合致するものをいう。

- (1) 機械技術の「発展史上」重要な成果を示すもの(工学的視点から)。
- (2) 機械技術で「国民生活、文化、経済、社会、技術教育」に対して貢献したものの。

●各項目の内容

- (1) 機械技術発展史上重要な成果を示すもの

〔機械技術で独創性または新規性のあるもの／品質または性能が優秀なもの／機械技術の進歩発達過程において一時代を画したものの(改良発達)／新たな産業分野の創造に寄与したもの(波及効果のあったもの)／設計上特筆すべき事項のあったもの／日本のものづくりの心と技を端的に示すもの〕

- (2) 機械技術で国民生活、文化・経済、社会、技術教育に対して貢献したもの

〔国民生活の発展、新たな生活様式の創出に顕著な貢献のあったもの／国民生活・文化に貢献したもの／地域の発展と活性化に貢献したもの／社会、文化と機械技術の

関わりにおいて重要な事象を示すもの(最初、最古のもの)／動態保存で現在も活用されているもの／製造当初の姿を良くとどめているもの／意匠上特筆に値するもの／機械技術の継承を図る上で重要な教育的価値を有するもの〕

●認定基準

次の各項目のいずれかに該当するもので、広く機械技術・機械工学に寄与したものを。

- (1) 対象物が、その独自性(例えば、はじめて開発されたもの、最初のもの、現存最古のもの、以前に広く使われた機械で使用されている最後のもの)によって区別されるもの。
- (2) その他、機械技術史上の特徴を保有しているもの。
- (3) 既に博物館などで記念物として認定されたものも含む。

●認定対象

認定対象としては原則として

- (1) Site：歴史的景観を構成する機械遺産
- (2) Landmark：機械を含む象徴的な建造物・構造物
- (3) Collection：保存・収集された機械
- (4) Documents：歴史的意義のある機械関連文書類

●対象となる時代

原則として産業革命以降の工業化がなされた時代を対象とするが、必要に応じて範囲を適宜に拡大することを妨げない。また、年代の下限は設けない。

機械遺産監修委員会(2022年)

●委員長

藤江 正克 早稲田大学 名誉教授

●委員

植田 利久 帝京大学 教授
小澤 守 関西大学 名誉教授
久保 司郎 大阪大学 名誉教授
佐々木直哉 (株)日立製作所
鈴木 一義 元 国立科学博物館
堤 正臣 東京農工大学 名誉教授
鳳尾 幸彦 (一社)日本機械学会 常勤理事

機械遺産委員会(2022年)

●委員長

小野寺英輝 岩手大学

●副委員長

神谷 和秀 富山県立大学

●委員

石田 正治 元 名古屋芸術大学
市原 猛志 熊本学園大学
門田 和雄 神奈川工科大学
権上かおる 元(株)アグネ技術センター
佐藤 智明 神奈川工科大学
高橋 芳弘 千葉工業大学
二ノ宮進一 日本工業大学
吉田 敬介 九州大学

機械遺産 Mechanical Engineering Heritage

2022年8月7日 発行

一般社団法人 日本機械学会

〒162-0814 東京都新宿区新小川町4番1号KDX飯田橋スクエア2階

TEL:03-4335-7613 FAX:03-4335-7618

E-mail:kikaiisan@jsme.or.jp

© 2022 一般社団法人 日本機械学会

The Japan Society of Mechanical Engineers(JSME)
KDX Iidabashi Square Bldg. 2nd Floor
4-1 Shin-ogawamachi, Shinjuku-ku,
Tokyo 162-0814, Japan
TEL:+81-3-4335-7613, FAX:+81-3-4335-7618
E-mail:kikaiisan@jsme.or.jp
URL:https://www.jsme.or.jp

©2022 by The Japan Society of Mechanical Engineers(JSME)